

平成 2 8 年

第 4 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成28年第4回仙北市議会臨時会を招集したところ、議員の皆様にはご出席を賜り誠にありがとうございます。

それでは、前回臨時会後の主要事項並びに諸般の状況等を報告します。

#### ◇贈収賄事件の報告書について

一般廃棄物最終処分場の委託業務に係る贈収賄事件について、議会の調査特別委員会の報告書とは別に、市としての調査報告書を取りまとめることとしていましたが、この度、部長等会議での精査・検証を経て策定作業を終えました。内容は事件の経過や事件発生の要因、具体的な再発防止対策等の構成とし、9項目の参考資料を添付しています。

今後は、議会からのご指摘、ご提言をしっかりと受け止め、再発防止に職員一人ひとりが真摯に取り組むことを改めて徹底します。

調査報告書については、本日配付していますので内容を確認いただきますようお願いいたします。

#### ◇平成28年春の叙勲受章者並びに褒章受章者について

春の叙勲受章者が発表されました。仙北市では、元西木村消防団分団長の糸井伊一氏、元田沢湖町消防団分団長の小玉兼治氏が、消防功労により瑞宝単光章を受章されました。

また褒章受章者では、カネエイ書店代表の佐藤榮爾氏が業務精励により黄綬褒章を、統計調査員の草薙英子氏が統計調査功績により藍綬褒章を受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたもので、市民の皆様と共にご苦勞に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

### ◇仙北市関係者のオリンピック出場について

仙北市の万六建設に勤務する大仙市協和の佐々木将汰・翼兄弟が、4月24日富山市で開催されたカヌー・スラロームのリオデジャネイロ五輪アジア最終予選で、オリンピックの出場権を手に入れました。

佐々木兄弟は、本市事業所に勤務していることや、先の国体では本市でカヌー競技が開催されたことなど、仙北市との関わりがとても深く、市としてできる限り応援したいと考えています。

### ◇熊本地震の義援金について

4月14日から連続して発生する熊本地震で被災された方々を支援するため、19日から各地域センター・出張所の7ヶ所に募金箱を設置し義援金を募っています。併せて市職員からの義援金も受け付けています。

なお、義援金は被災者へできるだけ速やかにお届けでき、且つ、効果的に活用していただける団体等に送りたいと考え、現在送り先を検討しています。

### ◇地方創生・総合戦略について

4月から総務部内に地方創生・総合戦略室を設置し、地方創生・総合戦略統括監、田沢湖再生専門官等7人の職員を配置しました。仙北市は昨年、地方創生特区に指定されていますが、今後、規制改革メニューの活用、仙北市を活性化する様々な新規事業、新たな規制緩和の提案等、多くのことに取り組む必要があります。そのため、地方創生・総合戦略室が推進エンジンとなり、民間事業者の方々と連携して各種事業を展開します。既に近未来技術実証特区関係の事業として、ドローンの実証実験が複数実施されました。

4月11日には、西明寺小学校と西明寺中学校間の1.2キロで、ドローンの秘匿通信による図書配送輸送の実証実験が行われました。実験者は国立研究開発法人「情報通信研究機構」と「株式会社

プロドローン」です。また4月18日には抱返り溪谷で山間空中自動航行撮影、20日には落合運動公園付近でサクラの剪定立体撮影の実証実験が行われました。実験者はインフォテリア株式会社と空撮サービス株式会社です。実験はいずれも当初の目標を達成することができました。

#### ◇サクラの保全活動に関する協定締結について

東京に本社を置くソフトウェア開発のインフォテリア株式会社より、同社のシステムソフト「ハンドブック」の契約件数が通算1,000件を超えたことを記念し、本市のサクラの保全活動等を目的とした企業版ふるさと納税のご提案をいただきました。4月20日の桜まつりのオープニングに合わせて、青柳議長の立会いのもと、「サクラの保全活動に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、落合運動公園付近から桧木内川堤の桜を空撮した映像や、多言語に対応した観光情報が閲覧できるタブレット端末5台を、5月上旬までの期限で無償貸与いただくことになりました。タブレット端末は現在、仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」をはじめ、観光施設等5カ所に設置しています。

#### ◇FPV Robotics株式会社との連携協定について

4月22日、仙北市は、国家戦略特別区域会議で計画認定を受けているFPV Robotics株式会社と連携協定を締結しました。

当事業者は、ドローン競技会の運営について実績があり、屋外でのコース設定や安全性の確保等に係るノウハウをもっているため、7月末に予定している仙北市主催の「ドローン競技会」を開催するにあたり、事業の一部を委託する契約の準備を進めています。

このような近未来技術の実証実験は今後も続きます。市としては、これら技術をどのような形で市民の皆様へのサービスに活用していくか、市内の民間事業者との経営支援に繋げられるか、具体的な方策を示していくことが喫緊の課題です。地方創生加速化交付金等を

活用し、着実に成果をあげていきたいと思っています。

#### ◇田沢湖クニマス未来館（仮称）整備について

田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクトについては、昨年度の湖底調査に続き、いよいよ本格的に施設整備等の事業が始まります。4月20日には田沢湖クニマス未来館（仮称）の造成工事の入札を実施し、事業者が選定されました。

工事のための立木伐採は既に始まっていて、造成については6月上旬の完成予定です。このあと本体工事、展示工事、外構工事を実施し、年度内の完成を目指して事業を進めます。

なお、この一連の工事に伴い、靄森の自転車道については、来年の外構工事完成まで安全確保のため通行止めとし、う回路として田子の木集落から思い出の潟分校前を通り、大沢集落に至るルートに案内板を設置し、自転車で遊覧するお客様の利便を図ります。

#### ◇西湖クニマス展示館開館記念式典について

4月27日、山梨県富士河口湖町に整備されたクニマス展示館のオープンセレモニーに出席しました。

展示施設は、西湖畔に整備されたもので、泳ぐクニマスの成魚が観察できるほか、田沢湖の歴史や、発見までの経緯などが学べる内容となっていました。

現在、市ではクニマス未来館（仮称）の建設を進めているところですが、クニマス展示館の協力をいただきながら、内容の充実を図りたいと考えています。

なお、中坊徹次京都大学名誉教授から、今後は、山梨県・秋田県・富士河口湖町・仙北市が、諸課題の解決に向けて協議ができる会議等の設置についてご提案をいただきました。各機関と相談しながら、情報の共有はもとより、さらに親密な関係を構築し、田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクトを着実に進めたいと考えています。

#### ◇火災の発生について

4月10日（日）12時50分頃、角館西長野地区で原野の枯れ草約600平方メートルが焼損しました。原因は、枯れ草焼きをしていた際に、強風で燃え広がったものと思われます。

今後も林野火災等の対策に取り組み、関係団体と連携しながら、防災行政無線等を活用した注意喚起を続けます。

#### ◇行方不明者の発生について

3月31日、夕刻に行方不明事案が発生しています。

4月1日午前3時頃、角館町勝楽地内に住む83歳の男性が帰って来ないと家族から仙北警察署へ通報があり、朝方より警察署員が捜索にあたりましたが発見に至りませんでした。同日夕刻、市へ消防団員出動要請があり、同日は防災行政無線及び安全安心情報メールでの呼びかけを行うとともに、2日7時30分より、警察・消防・消防団23人体制で自宅付近を中心に捜索活動を実施しました。さらに10日にも警察・消防・消防団及び町内会の協力のもと、51人体制で捜索活動を実施しました。しかし手掛かりを見つけないことが出来ず、現在も発見に至っていません。

#### ◇暴風被害について

4月17日午後3時頃より、発達した低気圧の影響で強風に見舞われ、仙北市内では、屋根のトタンや農業ハウスのビニールが剥がれる被害、また倒木による道路封鎖などが相次ぎ、一部地域で停電も発生しました。幸いにも人的被害の報告はありませんでした。

なお、秋田气象台が観測した最大瞬間風速は、角館・田沢湖とも風速20m、大曲観測所では風速27mを記録しています。

被害状況は、住家9戸、非住家20戸、農業施設ハウス被害98棟、倒木による道路封鎖10ヶ所、公共施設等被害23ヶ所、さらに市内の一部で明朝まで停電となりました。

#### ◇認定こども園の法人化について

4月1日から、幼保連携型認定こども園の「だしのこ園」と「神代こども園」が、社会福祉法人はなさき仙北の運営となりました。

各園とも、それぞれ入園式に先立って開園式が行われ、法人スタッフにあたたかく迎えられる中、園児、保護者のほか多くの関係者が出席して、地域の期待を背負って新しい運営のスタートを祝いました。

#### ◇神代診療所の診療体制について

常勤医が不在となった神代診療所は、各関係機関のご協力をいただき4月以降も診療を継続しています。

診療体制は、月曜日の午後が角館総合病院、火曜日の午前が田沢湖病院、水曜日の午前と午後、木曜日の午前と午後が秋田大学附属病院、第2、第4金曜日の午前が田沢湖病院から医師を派遣いただいている診療となっています。

ご協力をいただく皆様に感謝しながら、今後とも引き続き常勤医の募集と招聘に務めます。

#### ◇角館祭りのやま行事実行委員会の設立について

昨年の角館のお祭りで発生した重大事故の対策として、第一に安全対策を念頭に置いた新組織の設立に向け協議を重ねてきました。4月13日、新実行委員会の会則が決定し、新役員が選出されたことで、新組織が正式に立ち上がりました。

名称は「角館祭りのやま行事実行委員会」です。今後は、この角館祭りのやま行事実行委員会を中心に、安全対策と伝統文化の継承の両立を目指していくこととなります。

また、実行委員会事務局については、一般社団法人角館町観光協会に置くことになりましたが、昨年の事故を重視し、市観光課が事務局を当分バックアップしていく体制としました。

#### ◇桜まつりの状況について

桜まつりの開催は、開花予想等を踏まえ柔軟な対応が必要です。そこで4月8日に実行委員会を開催し、平成28年度はプレオープン期間を設け、4月16日の土曜日から出店の営業・夜間のライトアップ・仮設トイレの設置を行うことにしました。4月20日には、正式な桜まつりのオープニングでしたが、たくさんの関係者のご臨席をいただき盛大に行うことができました。

開花状況は、4月15日に武家屋敷通りのシダレザクラが開花、4月21日に満開となりました。桧木内川堤のソメイヨシノは、4月20日に開花、4月23日に満開となりました。桜まつりは5月5日までの開催です。引き続き仙北市を代表する祭典との意識を持って対応を継続します。なお、期間中の人出については、6月定例会で改めて報告します。

#### ◇仙北市観光大使の任命式について

4月30日、都内の「おーる秋田・東京ふるさと館」で、8人目の仙北市観光大使任命式を行いました。

今回大使をお願いする方は、タレントのグッチ裕三さんです。一昨年、テレビ番組の撮影で仙北市を訪れた際、武家屋敷などの建造物と庭木など樹木が一体的に保存されている歴史的風致に感動し、もっとこの素晴らしい町並みを全国に紹介したいとお話しを受けていました。その後、観光大使をお願いしたところ、快くお引き受けいただいたものです。当日は各ふるさと会やふるさとサポーターの皆様にもご参加をいただき、懇談会も開催することができました。

グッチ裕三さんは料理番組にも出演されていることから、仙北市産の食材も含め情報発信にご協力をいただきたいと考えています。

#### ◇仙北市インバウンド誘客促進事業について

平成27年度事業で、国の地方創生先行型の上乗せ交付分を活用した「仙北市インバウンド誘客促進事業」が、予定通り3月31日



を持って終了しました。訪日外国人が増加する中、インバウンド観光における地方への誘客対策は、地方創生の目玉として全国の自治体に取り組んでいます。仙北市では、外国人観光客向けの活動を活性化させ、外国人観光客をさらに増加させることで、市の観光客数の入れ込みを底上げする戦略です。

事業は、観光情報の発信・PRと外国人向け体験メニューの造成、多言語通訳コールセンターの開設等でしたが、一定の成果を収めただけでなく、インバウンド観光の課題や方向性を明確化できました。

平成27年で、秋田県全体の外国人観光客宿泊者数は4万6,600人です。東北各県との比較で言うと、青森県・岩手県両隣県が大きく先行し、原発事故の影響が続く福島に次いで少ない状況となっています。

仙北市は、同じく平成27年の宿泊者数が2万2,200人で、秋田県全体の半数近くのシェアを占めています。数字から見ても県全体のインバウンド観光の基軸となっていることから、引き続き県や関係団体との連携強化を図り、インバウンド誘客を進めることが仙北市の役割の一つと思っています。

#### ◇司食品工業の企業誘致について

司食品工業の企業誘致については、平成28年第2回定例会において1月末時点での状況を報告しましたが、その後の経過について報告します。

昨年12月24日に滝本社長から企業進出は難しいとのお話があり、それ以来、書面での提出を度々お願いしてきました。去る4月14日、滝本社長が来庁し、書面で進出断念書が提出されました。これを受けて、4月22日の産業建設常任委員会協議会で、その内容について報告をしました。同日午後には担当職員が市の顧問弁護士を訪問し、今後の市の対応・対策等について法的措置も含め協議をしています。

法的な面については、これまでの経緯等について十二分に分析を

行う必要があります、顧問弁護士と慎重に対応を検討しています。

また、これらに対応しながら、議会や市民へのさらなる説明、新たな企業誘致に向けて、全力で取り組む決意です。

#### ◇畜産環境総合整備事業に係る公害防止協定について

国の畜産環境総合整備事業を導入した、堆肥処理施設の整備計画を進めてきましたが、西木町小山田字高野地内に建設することで、関係する高野集落及び外谷地集落から同意をいただきました。また事業の実施にあたり、集落の皆様が心配する畜産公害の防止を目的に、去る4月14日に各集落の代表と市の3者で公害防止協定を締結しました。

今後は、この協定を遵守し、近隣にご迷惑をかけないよう事業を進めます。

#### ◇基盤整備事業について

生産基盤整備のため、市内各地で事業化に向けて準備を進めています。西木町潟野・十二峠地区の基盤整備は、県営事業として昨年度から工事を実施しています。平成28年度工事は、既に入札が終了し市内業者2社が落札、12.2ヘクタールの面工事2工区と、橋梁上部工を実施します。工期は本年11月末までとなっています。

このほか、生保内南地区は、本年度事業採択予定となっているほか、神代地区、八津鎌足地区についても事業化に向けた計画策定を行っています。

#### ◇平成28年度道路整備国庫補助事業について

平成28年度社会資本整備総合交付金事業費国庫補助金について、当初予算の内示率は、栃木六本杉線・東田鎌川線を整備している社会資本整備総合交付金事業が32.6パーセント、神代中央線・橋梁補修等を整備している防災・安全社会資本整備総合交付金事業が50.6パーセントと大変低い内示率です。

このことから、現状のままでは予定している工事量が望めない状況です。早期に全力で要望活動を展開します。

また、都市計画道路岩瀬北野線整備事業は、事業を完成すべく要望していましたが、昨年度末の追加配分を含めた内示率は71.9パーセントに留まっている現状です。

先の秋田県市長会でも、各市長から年度事業全般にわたって同様の現状報告があり、秋田県市長会として対応を検討することになっています。これらの枠組みの在り方に関わらず、早期に全力で要望活動を展開します。

#### ◇平成28年度水道施設整備費国庫補助事業について

4月1日現在、内示率は雲然田中・八割水道未普及地域解消事業と、西明寺（神代）水道未普及地域解消事業が、ともに50.1パーセントと大変低い内示率です。

西明寺（神代）地区は今年度が事業終了年度となっていることから、早期に全力で要望活動を展開します。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。

今臨時会で審議をお願いする案件は、専決処分の承認4件です。慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。